

チュウゴクアミガサハゴロモ *Ricania shantungensis* (Chou & Lu, 1977) の 徳島県からの初記録

外村俊輔¹・大原賢二²

[Shunsuke Tomura¹ and Kenji Ôhara²: First Record of *Ricania shantungensis* (Chou & Lu, 1977) from
Tokushima Prefecture, Shikoku, Japan.]

Abstract : An alien planthopper insect species, *Ricania shantungensis* (Chou & Lu, 1977) was collected from Kamiyama-chô, Tokushima-Prefecture, Shikoku for the first time. This species is known as euryphagous and sap-sucking pest in some countries of the Palaearctic Region. In Kamiyama-chô, many eggs covered with white wax were laid on 10 plant species (e.g. *Wisteria floribunda* (Willd.) DC.; *Prunus tomentosa* Thunb.). This short paper provides images of male adult, male genitalia, and egg sacks of this species.
キーワード : ハゴロモ科, 外来種, 広食性, 神山町, サザンカ

チュウゴクアミガサハゴロモ *Ricania shantungensis* (Chou & Lu, 1977) は、半翅目ハゴロモ科に属し、中国を原産地とする (Chou & Lu, 1977). 本種は旧北区の各地に外来種として移入しており、ドイツ (Schrader, 2021), フランス (Bourgoin et al., 2020), イタリア (Stroiński et al., 2022), トルコ (Hizal et al., 2019), 韓国 (Rahman et al., 2012) など確認されている。国内では2017年に大阪府から複数の個体が採集されて以降、長らく未同定種として扱われていた (例: 長谷川ほか, 2022) が、春澤・宮武 (2023) で本種として同定され、外部形態の図示と和名の付与が行われた。全国各地で目撃例があり、本州 (関東地方, 近畿地方) や九州などで分布を拡大しているとされ (春澤・宮武, 2023), 千葉県 (伴, 2023), 東京都 (韓, 2023; 宮崎, 2023), 神奈川県 (七里・佐久間, 2022), 岡山県 (末長, 2023) から記録されている。

本種に標徴が類似する在来種としてアミガサハゴロモ *Pochazia albomaculata* (Uhler, 1896) が知られ、本州, 四国, 九州, 対馬, 沖縄島, 国外では韓国に分布する (林・藤沼, 2016)。春澤・宮武 (2023) および Rahman et al. (2012) における2種の外部形態の比較によると、チュウゴクアミガサハゴロモは (1) 前翅の地色は茶褐色から鉄さび色であり、暗緑色ではなく緑色の鱗粉で覆われないこと (図 1-A); (2) 前翅前縁中央の白斑は扁平な半円形かつ輪郭が直線状であり、三角形かつ輪郭が波状ではないこ

と (図 1-A); (3) オス交尾器の aedeagus 側面に鉤爪状の subapical process を有すること (図 1-B, C); (4) オス交尾器の pygofer 側面背方から指状の突起が伸長していないこと (図 1-B, D) などで識別される。

2023年9月から11月にかけて、筆者の一人である大原が徳島県名西郡神山町でクワ科のクワ属の一種 *Morus* sp. の枝に静止している個体を確認、採集し、交尾器形態などに基いて外村が同定した。その後、外村の調査によって同地点で多数の卵塊が発見された。本種はこれまで四国から確認されていないため、四国および徳島県における初記録として報告する。標本は徳島県立博物館 (Tokushima Prefectural Museum: TKPM) に保管されている。

[採集データ]

チュウゴクアミガサハゴロモ *Ricania shantungensis* (Chou & Lu, 1977) (図 1)

徳島県名西郡神山町神領西上角: 4♂ 1♀, 17.IX.2023, 大原賢二採集; 2♂ 5♀, 3.XI.2023, 大原賢二採集; 2♂ 4♀, 13.XI.2023, 外村俊輔採集。

神山町の山沿いの住宅地に近い公園で発見された (図 2-A)。公園内には多種の樹木が植栽されており、各種の細い枝の先端で卵塊とともに静止している様子が観察された (図 2-B, C)。その後、大原は神山町に隣接する石井町

2023年11月7日受付, 12月20日受理。

¹ 徳島県立博物館, 〒770-8070 徳島市八万町文化の森総合公園. Tokushima Prefectural Museum, Bunka-no-Mori Park, Hachiman-chô, Tokushima 770-8070, Japan.

² 佐那河内いきものふれあいの里 ネイチャーセンター, 〒771-4102 名東郡佐那河内村上字大川原. Tokushima Prefectural Nature Centre, Okawara, Sanagochi, Tokushima, 771-4102, Japan.



図1. チュウゴクアミガサハゴロモの外部形態。A, 徳島県産チュウゴクアミガサハゴロモのオス全形；B, オス交尾器側面。スケールバー：1.0mm；C, オス交尾器 aedeagus 側面の subapical process (赤格子で示す)；D, オス交尾器 pygofer 側面背方 (赤格子で示す)。

などで調査を行ったが、本種の発見には至っていない。そのため、本種の移動経路として、飛来のほか、樹木や車両などの移動に便乗して神山町に移入してきたことが考えられる。また、本種は夜間の灯火に飛来した記録もあり(末長, 2023), 光源による誘引も移動要因となる可能性がある。

本種は広食性で、カバノキ科、クワ科、ブナ科、マメ科、モクセイ科など非常に多くの科の植物を利用している(Hizal et al., 2023)。本種は植物の枝を集団で吸汁するほか、樹皮を傷つけて産卵し、白いワックス状物質で卵塊を覆う行動が知られる(Hizal et al., 2023)。徳島県では1地点のみの調査であるが、7科10種の植物から卵塊が発見された(表1；図2-B-F)。卵塊はいずれも直径10mm以下の細い生枝で確認された。

本種は排泄された甘露によりすす病の発症を促進することが報告されているほか、産卵の際に枝を傷害することで樹勢を衰弱させる事例も知られており、原産地および移入地で果樹や街路樹の害虫として扱われている(Bourgoin et al., 2020; Hizal et al., 2023)。国内では現在のところ顕著な被害は報告されていないが、庭木や街路樹への吸汁や産卵は確認されているため、個体数の増加に伴って被害が顕在化する可能性がある。また、山地性の環境に生息するアミガサハゴロモに対して、本種は都市部の公園など、より人

工的な環境を嗜好することが示唆されている(春澤・宮武, 2023)。県内でも、住宅地に近い公園の植栽で確認されており、同様の環境で分布の拡大が懸念されるため、今後の状況を注視する必要がある。

謝辞

本稿を執筆するにあたり、文献の恵与と御助言を賜った山田量崇博士(兵庫県立人と自然の博物館)および標本写真を撮影いただいた鈴木佑弥氏(徳島県立博物館)に厚く御礼申し上げる。

引用文献

- 伴 光哲. 2023. 印西市から発見された外来ハゴロモ *Pochazia shantungensis*(Chou & Lu, 1977). 房総の昆虫, (72) : 84.
- Bourgoin, T., P. Gros and A. Stroiński. 2020. *Pochazia shantungensis* (Chou & Lu, 1977), an important Asiatic invasive pest on fruit trees, first time reported from France



図2. チュウゴクアミガサハゴロモの確認地点の景観および成虫と卵塊. A, チュウゴクアミガサハゴロモの確認地点 (徳島県名西郡神山町, 2023年11月13日); B, フジの枝に静止する成虫と卵塊; C, サザンカの枝に静止する成虫と卵塊; D, ユスラウメの枝に付着した卵塊; E, ケヤキの枝に付着した卵塊, F, ドウダンツツジの一種の枝に付着した卵塊.

(Hemiptera, Fulgoromorpha, Ricaniidae). Bulletin de la Société entomologique de France, 125 (3): 271–272.

Chou, I. and C. Lu. 1977. On the Chinese Ricaniidae with descriptions of eight new species. Acta Entomologica Sinica, 20 (3): 314–322.

韓 昌道. 2023. 東京都小平市でチュウゴクアミガサハゴロモを確認. 月刊むし, (634): 13–14.

春澤圭太郎・宮武頼夫. 2023. アミガサハゴロモに近似の外来種について(カメムシ目:ハゴロモ科). 月刊むし, (628): 38–40.

長谷川匡弘・石田 惣・松井彰子・松本吏樹郎・長田庸平・初宿成彦・植村修二・和田 岳. 2022. 大阪府外来生物目録. 自然史研究, 4 (5): 117–156.

林 正美・藤沼 聡. 2016. ハゴロモ科. 日本昆虫目録編集委員会編, 日本昆虫目録第4巻 準新翅類, p. 354–355. 日本昆虫学会, 東京.

Hizal, E., S. Öztemiz, and I. Gjonov. 2019. *Ricania shantungensis* Chou & Lu 1977 (Hemiptera: Fulgoromorpha: Ricaniidae) a new invasive insect species in European Turkey. Fresenius Environmental Bulletin, 28 (12A): 9816–9820.

Hizal, E., S. Öztemiz, and I. Gjonov. 2023. Phenology and host preferences of the invasive *Pochazia shantungensis* (Chou & Lu, 1977) (Hemiptera: Ricaniidae), a risk for agriculture and forest areas in the West-Palaeartic Region. Acta Zoologica Bulgarica, 75 (2): 251–258.

宮崎 豊. 2023. チュウゴクアミガサハゴロモの東京都多

- 摩西部での記録. 月刊むし, (634): 14–15.
- 七里浩志・佐久間 聡. 2022. アミガサハゴロモに近似した外来ハゴロモを横浜市で採集. 神奈川虫報, (208): 93–95.
- Rahman, M. A., Y. J. Kwon, S. J. Suh, Y. N. Youn, and S. H. Jo. 2012. The genus *Pochazia* Amyot and Serville (Hemiptera: Ricaniidae) from Korea, with a newly recorded species. *Journal of Entomology*, 9 (5): 239–247.
- Schrader, G. 2021. PRA for *Pochazia shantungensis*. Federal Research Centre for Cultivated Plants, Institute for National and International Plant Health: 8 pp. https://pflanzengesundheit.julius-kuehn.de/dokumente/upload/Pochazia-shantungensis_exprPRA_en.pdf (2023 年 11 月 7 日閲覧)
- Stroiński, A., M. Balderi, D. Marraccini, and G. Mazza. 2022. First records of *Pochazia shantungensis* (Chou & Lu, 1977) (Hemiptera: Fulgoromorpha: Ricaniidae) in Italy. *Zootaxa*, 5188 (3): 275–282.
- 末長晴輝. 2023. チュウゴクアミガサハゴロモの岡山県における初記録. 月刊むし, (634): 12–13.

表 1. 徳島県名西郡神山町でチュウゴクアミガサハゴロモの卵塊が確認された植物.

科名	Family	種名	Species
マメ科	Fabaceae	フジ	<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.
バラ科	Rosaceae	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i> Thunb.
バラ科	Rosaceae	クサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i> Thunb.
ニレ科	Ulmaceae	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino
アサ科	Cannabaceae	エノキ	<i>Celtis sinensis</i> Pers.
ミズキ科	Cornaceae	ジョウリョクヤマボウシ	<i>Cornus hongkongensis</i> Hemsl.
ツツジ科	Ericaceae	サツキ	<i>Rhododendron indicum</i> (L.) Sweet
ツツジ科	Ericaceae	ドウダンツツジの一種	<i>Enkianthus</i> sp.
ツツジ科	Ericaceae	サザンカ	<i>Camellia sasanqua</i> Thunb.
アカネ科	Rubiaceae	ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merr.